



**2015  
初夏**

**伝えたい三高勢の雄姿**

**県高校総体&高文連活動**



MITOYA

島根 **三刀屋**  
県立 **高校**

**蒼雲**

学校だより  
第96号

**7/31**

**私たちに続け未来の三高生**



**(金)**

**三刀屋高校  
オープンキャンパス**

中学3年生と保護者の皆様のお越しを  
お待ちしております。案内役は…

**今年も三高ビジュアル系美男美女(自称)**

**442名**

**道を拓け!三刀屋高校総合学科で**



【発行所】  
三刀屋高等学校  
〒690-2404  
雲南市三刀屋町  
三刀屋912-2  
TEL: 0854-45-2721  
FAX: 0854-45-5630

【印刷所】  
有限会社木次印刷  
〒699-1312  
雲南市木次町山方  
630-5  
TEL: 0854-42-8133  
FAX: 0854-42-8155

広島・長崎被爆70年 「永井隆記念館」無料開放! (平成27年7月1日~8月31日)

つながろう三高  
つながろう雲南

**如己愛人**

6月23日を覚えていますか?

暑い季節が近づくと、日本では戦争の歴史を振り返ることが多くなるが、6月23日は何の日? ▼昭和20年、3カ月近く続いた

沖縄戦終結の日であることを覚えていた高生はどれほどいるだろうか。広島や長崎の原爆の日、今年で70年となる終戦の日と比べて、高校生ならずとも本土の人間にとっては印象の薄い日になってはいまいか? ▼5年前の夏、PTAの全国大会に参加するため暑い沖縄の地に立った。僅かな滞在時間の中、最も印象深く心に残ったのは講演会のお話でもなく、観光案内の説明でもなく、たまたま乗ったタクシーの運転手さんの言葉だった。沖縄県出身の方ではなかったが、私が本土からやってきた高校教員と知ると、特別に力を入れることも無く穏やかな口調で語りかけてきた。「沖縄の子どもたちはね、普段の生活の中で『平和』とか『戦争』とかを普通に口にするんですよ。本土の子どもたちは特別な平和学習の時間とか、作文などでしかこんな言葉は使わないでしょう!」「普段の生活の中で自分自身の問題として『平和』を考えているんですよ。沖縄の思いを改めて実感する瞬間だった▼マスコミにしばしば登場する若手憲法学者K氏は言う。「戦後生まれの若い私たちも、戦争を知らない世代ではない。世界のいたる所で現に戦争が継続していることを知っている。」▼何も言わなくなつた国民?を心配する声も多いが、被爆地長崎から平和へのメッセージを発信し続けた永井隆博士の故郷雲南市からは、今年も三高生が「永井隆平和賞」(7月末~8月)に応募して熱い思いを伝えてくれるはずだ。

(編集長記)



# ご声援ありがとうございました



ソフトボール



2015 風にゆれ青春が走れ  
君が創る 近畿総体

# 祝

インターハイ出場へ

▼女子ソフトボール

(8/2~6、滋賀県守山市)

▼少林寺拳法

門脇有紀菜(2年)

(7/31~8/2、兵庫県姫路市)

## 女子 4年連続32回目

— 県内4大会完全制覇の快挙 —

<女子ソフトボール決勝>

TEAM	1	2	3	4	5	6	7	計
大東	0	0	0	0	0	0	1	1
三刀屋	0	0	0	0	1	2	0	3

<女子ソフトボール準決勝>

TEAM	1	2	3	4	5	6	7	計
出雲商	1	0	0	0	1	0	0	2
三刀屋	0	1	2	1	0	0	×	4

<女子ソフトボール準々決勝>5回コールド

TEAM	1	2	3	4	5	6	7	計
江津	0	0	0	0	0			0
三刀屋	2	0	8	5	×			15

昨年は春の中国大会連続出場を阻まれるなど、3年生の少ないチームで苦しみながらも県総体では歓喜の頂点に立った。

これに対して昨秋からの新チームは現2、3年生が投打の安定し

た試合運びで勝利を重ね、今大会の準決勝・決勝のように先制されたり緊迫したゲーム展開でもあわてることなく、持ち味を發揮して県総体4年連続32回目の栄冠を手にした。

全校生徒数		体育系部活動:部員数			
男子	202	442	男子	160	271
女子	240		女子	111	

### 最終回の反撃一步届かず



### 男子 15年連続ならず

<男子ソフトボール決勝>

TEAM	1	2	3	4	5	6	7	計
安来	1	0	2	1	0	0	0	4
三刀屋	0	0	0	0	0	0	2	2

小刻みに加点する安来に対し、三刀屋は最終回に2点を返したものの反撃及ばず、15年連続の優勝は成らなかった。

この一年間は部員不足に悩んだ三刀屋だったが、逆に安来もこの15年、部員確保に悩

み続けながらも打倒三刀屋を大きな目標として頑張ってきた。

記録はいつかは途絶えるもの。心機一転、これからは挑戦者の心を大切に奮起してもらいたい。

## 中国大会出場へ

▼水泳

男子平泳ぎ百m

同 二百m

吉川航輝(1年)

※水泳は、県総体後の7月下旬に開催される中国大会が夏の全国総体出場権をかけた予選となります。



▼顧問  
三嶋 広 (監督)

▼部員  
米田 大祐

高橋 笑理 (3年)  
永瀬 耀里 (3年)  
安原 美咲 (3年)  
神門 衿香 (3年)  
糸原 ひかる (3年)  
渡部 ほか (3年)  
古田 夏帆 (3年)  
木次 美雪 (2年)  
田島 実侑 (2年)  
周藤 蘭 (2年)

内藤 舞 (2年)  
山根 七海 (2年)  
青木 真衣子 (2年)  
板倉 知香 (2年)  
加藤 千佳 (2年)  
小林 大子 (2年)  
永見 日奈子 (2年)  
難波 夏里 (2年)  
難波 紫 (1年)  
塚本 有香 (1年)  
妹尾 ほたる (1年)  
山本 早季 (1年)  
高尾 美優 (3年)

マ





＜県総体の記録＞  
個人競技は2回戦  
進出または入賞以上等を掲載。

※結果の詳細は、生徒会  
発行の「三高NOW」を  
ご覧ください。

### バスケットボール

(金城町体育館、県立体育館)

- ▽1回戦  
三刀屋 73 - 48 江津工業
- ▽2回戦  
三刀屋 46 - 54 出雲工業
- 【女子】
- ▽1回戦  
三刀屋 101 - 15 出雲西
- ▽2回戦  
三刀屋 23 - 90 松江商業  
(優勝校)

### 陸上

(浜山公園陸上競技場)

- ▽円盤投  
【男子】
- 7位 勝葉航平(3年)
- 次点で惜しくも  
中国大会出場ならず



男子円盤投げの勝葉さんは  
7位ながらも、次点で惜しく  
も中国大会出場を逃す。

### 卓球

(松江市総合体育館)

- ▽1回戦  
【男子団体】  
三刀屋 1 - ③ 飯南
- 【男子個人単】
- ▽2回戦進出  
和泉僚(1年)

### 水泳

(県立水泳プール) 社会体育

- ▽百メートル平泳ぎ  
【男子】
- 3位 吉川航輝(1年)
- ▽二百メートル平泳ぎ  
2位 吉川航輝



### 女子団体

- ▽1回戦  
三刀屋 ③ - 0 大東
- ▽2回戦  
三刀屋 0 - ③ 松江商業
- 【女子個人複】
- ▽2回戦進出  
柿木紗雪(3年)
- 高花菜摘(3年)

### ソフトテニス

(浜山公園テニス場)

※この結果、7月下旬に広  
島市で開催される中国大  
会(インターハイ予選)  
への出場権を獲得。



### バレーボール

(大社高校)

- 【女子】
- ▽1回戦  
三刀屋 ② - 0 津和野
- ▽2回戦  
三刀屋 0 - ② 大社  
(優勝校)

### 剣道

(益田市民体育館)

- 【男子団体】
- ▽1回戦  
三刀屋 ② - 1 出雲農林
- ▽2回戦  
三刀屋 0 - ⑤ 大東
- 【男子個人】
- ▽3回戦進出  
鈴木昭平(3年)

### 柔道

(県立石見武道館)

- 【男子団体】
- ▽1回戦  
三刀屋 0 - ⑤ 浜田
- 【男子個人】
- ▽100kg級  
進々決勝進出  
奥井大勢(3年)

### サッカー

(江津高校)

- 【男子】
- ▽1回戦  
三刀屋・大東合同  
1 - ③ 出雲北陵



### 少林寺拳法

社会体育

5月下旬に米子市で開催さ  
れた鳥取県との合同選考会で、  
夏の全国高校総体に出場する  
鳥根県代表選手が決定した。  
本校関係分は次の通り。  
▽自由単独演武(鳥根県代表)  
門脇宥紀菜(2年)



体育部の現状と課題

県内各高校での部活動加入率は、20年ほど前と比べると格段に高くなり、多くの高校で90%を超えるようだ。そのため、生徒会予算がパンク寸前という嬉しい悲鳴も聞こえる。

ただ、生徒数減に加えて体育系部活動への加入率が低下しつつある学校が少なくないらしい。一学年300名を超える大規模校でも、特に新入生女子の体育部加入が50名を割るという事例を近年耳にするようになった。加えて、学年別の部員数のアンバランスも以前より顕著になってきたとする声も聞く。そのため、県総体の新チームでは大会出場が危ぶまれる状況も多くなってきた。

これに近い状況は、実は本校も少なからず抱える課題であり、昨年は3高の部活動を牽引した男子バスケットボール部も3年生は2名、男子ソフトボール部も新入生が入部するまでは部員不足から大会出場が危ぶまれ、サッカー部は大東高との合同チームで出場、男子バレーボール部は1、2年生の入学がなく、総体への出場を断念せざるを得なかった。全学年である程度バランスの取れた部員構成が維持できるかが、今後も大会成績のカギを握る条件となるに違いない。

また、中学校時代と同じ競技を高校でも継続する生徒に対し、中学校時代と異なる競技に挑戦する生徒が意外と多いのが三刀屋高校だ。理由は、中学校時代には部活動の種目が限られていたのに対し、高校では選択肢が増えるためだ。元々やりたかった競技が高校にあったからという声も実際耳にする。

新たな世界に挑戦することは素晴らしいことだが、小中学校時代から競技を続けてきた選手に対し、高校から競技生活スタートした者が勝利する可能性は厳しいのも現実だ。

生徒数減の波が一層部活動に影響を及ぼすのも必至だ。難しい問題ではあるが、文化部も含めて中学校との部活動連携のあり方を考える必要が一層高まってきているのではないだろうか。

野球は総体競技ではありません

野球

出雲地区大会

(5/29~31、浜山球場)

<1回戦>

TEAM	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
出雲西	0	0	1	0	3	0	0	0	0	4
三刀屋	0	2	1	0	1	1	4	0	×	9

<準々決勝>

TEAM	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
出雲北陵	0	0	0	0	0	0	5	0	2	7
三刀屋	2	0	0	1	0	1	4	1	×	9

<準決勝>

TEAM	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
大社	0	2	0	0	1	0	2	3	0	8
三刀屋	0	0	2	0	0	2	0	0	0	4

今大会優勝の大社高とも中盤まで互角の勝負!

図書館も選手を応援しました!

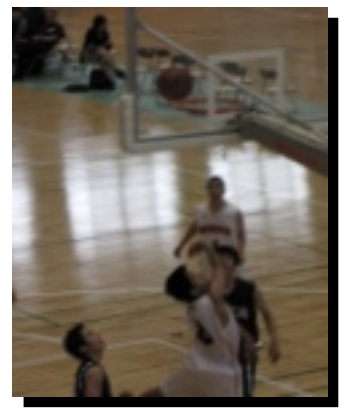
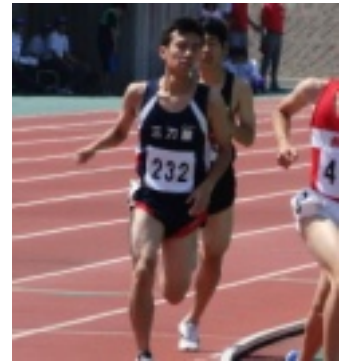


県総体を前に、司書の渡部さんがスポーツ選手のための「栄養学(食事)」「メンタルトレーニング」「ストレッチ・テーピング」等々を紹介する書籍を特集展示して選手を応援しました。



第52回島根県高校総体 点描

暑い! 2015 熱い闘い!



投打が噛み合えば期待十分!





島根県高文連

勝敗を決する体育系の部活動に対して、文化部は順位や賞を競う活動ばかりではない。このため何をやっているか分からないとの声も少なくないが、県総体の期間と重なる5月末から6月上旬にかけては毎年、高文連の各専門部でもコンクールのほか、フェスティバル・講習会等、意欲的な活動がさまざま展開されている。注目!

### 文化部も意欲的な活動展開

#### 書道

#### 高文連書道コンクール

#### 19校128名が参加

5月29日(金)、JR出雲市駅前のバルメイトを会場に標記コンクールが開催され、昨年を2校上回る県内19校から128名、本校からも書道部員6名が参加した。

会場で仕上げた作品が審査され、本校は3名の作品が特選に選ばれ、部員数は少ないものの、本校書道部の実力が高く評価され、部員にとって大きな自信となった。

#### ▼審査結果

特選 神田亜林(3年)  
黒目麻友(2年)



凛とした雰囲気の中で、二つの課題作品に挑戦

妹尾有真(2年)

特選の一人、妹尾さんはすでに昨秋の県高校書道展の結果により、今年の7月に開催される全国高等学校総合文化祭への出場も決定しており、さらなる飛躍が期待される。

#### 放送

#### 兼第62回NHK杯全国放送コンテスト地区予選

#### 2名が県大会出場へ(アナウンス部門)

(5/25、ステイックビル)

7月に東京で開催されるNHK杯に向けた最初の開門、松江地区予選にはアナウンス・朗読の2部門に9校から72名の放送部員が出場し、このう

#### 美術

#### 高文連出雲地区高校美術講習会

#### 出雲地区11校から143名参加

### 2泊3日の美術講習会

6/4、6



本校からは美術部員18名が参加し、宿泊先の出雲市小境町のサン・レイクからバスで小伊津漁港に移動して絵画作

#### 掛高(掛合分校)の仲間と合同練習

放送コンテスト松江地区予選を前に、掛高の生徒4名が来校し、視聴覚教室で合同練習を行った。4人はいずれも

掛高の演劇同好会でも活動し、腹式呼吸の発声練習も慣れたもの。コンテストで審査員をつとめる同校の荒木一徳教諭

らなかつたが、今年の新入生部員3名は短い練習期間にもかかわらず、いずれも堂々の発表をみせて今後に期待が膨らんだ。今月の県大会には番組作品の出品も予定している。



両校部員。掛高3年の舟木さんは、46名が出場した朗読部門で5位入賞を果たし、県大会に駒をすすめた。

#### ▼アナウンス原稿

#### 『歌う校長先生』

藤原香玲羅(3年)

始業式、終業式、球技大会、高校にはたくさんの集会があります。必ず校長先生の訓話が入っています。我が三刀屋高校の恩田校長先生は、訓話の最後いつも応援歌を歌って下さいませ。

三刀屋高校は大正13年、旧制三刀屋中学校として設立され、昨年度で90周年を迎えました。校長先生は昭和47年に本校に入学され、その当時の英語の先生に憧れたことが教師になるきっかけとなり、今こうして母校の

校長をされています。

現在応援歌は全部で九つ。たくさんあるのにも関わらず、応援歌を歌える人がほとんどいないので、伝統ある応援歌を生徒にも歌って欲しいと思い、集会で応援歌を歌うようになったそうです。

校長先生は、「生徒の皆さんが充実した高校生活を送れるよう、期待を込めて歌っています。」とおっしゃっていました。校長先生の歌声には、生徒を想う熱い思いが込められています。

#### 吹奏楽

#### 第50回出雲地区吹奏楽祭

#### 小中高35団体が出演

(6/7、出雲市民会館)

島根県出雲地区吹奏楽祭が6月7日、出雲市民会館で開催された。小学校から高校まで35団体が出演。本校吹奏楽部は、「マーチ『春の道を歩こう』」「君の瞳に恋してる」

の2曲を披露し、会場から大きな拍手が贈られた。

1年生12名が入部して現在は31名で活動する吹奏楽部。2ヶ月後に同じ出雲市民会館で開催される夏の吹奏楽コンクールに向け、益々練習に熱の入る熱い夏を迎える。



↑文化祭での茶道・華道・箏曲部のコラボ。

文化祭はコラボを大切に、つながる縁で躍動します

地味ではありません!  
地道なんです!

地域での発表機会も多いですよ

### 文化部の活動紹介

全国高等学校文化連盟マーク

「特技はお筆を少々。お茶にお花も嗜んでいます」と言えれば好感度アップ!?

- |       |      |      |
|-------|------|------|
| <文化部> | ESS  | JRC  |
| 写真    | 書道   | 吹奏楽  |
| 美術    | 演劇   | 放送   |
| 華道    | 箏曲   | 自然科学 |
| <同好会> | パソコン | ダンス  |
| 合唱    |      |      |
- 他校より多いですね!

### 箏曲

本校OGの外部講師日之蔵智子先生の熱心なご指導のもと、お筆(琴)で弾くのはお正月に耳にする定番の曲のほか童謡唱歌、クラシック、宮崎駿アニメの主題歌、SMA Pの名曲等々、バラエティーに富んでいます。3年生部員はいませんが、昨年に続いて今年も1年生がたくさん入部してくれ、十七絃やお三味線も加わって一層華やかな合奏が可能となりました。

まずは新入生のデビューとなる文化祭での発表をめざし、続く秋の県コンクールで上位入賞を目指します。



入学式では、新入生呼名の場面でBGMとして箏曲部が演奏しました。

### 茶道

三斎流の福岡喜代美先生をお呼びして、玄関前の「蒼雲館」和室で月2回程度、水曜日の放課後に活動しています。昨年のように、老人ホーム等への慰問活動も行いたいとのこと。部員大募集中!男子部員もいますよ。



### 華道

月に1~2回、講師の安部治美先生(池坊)に優しく指導していただきながら、楽しく花をいけています。今年度の部員は5名。部員は高校からお花を始めた初心者ばかり

です。文化祭での作品展示はもちろん、入学式や卒業式等、お客様をお迎えする場面では華道部のおもてなしの心が作品となつて校内の随所を飾ります。昨年度は池坊のHP上で行われる「インターネット花

展」にも応募しました。兼部も可能ですので、ぜひのぞいてみてください。



### 文芸

部員以外の個人出品も可能ですよ

### 島根県高文連文芸コンクール

募集 7月1日~8月5日  
表彰 11月6日

先月は新しく加わった部員とともに初めて俳句を作り、「俳句甲子園」に応募しました。創作は個人の作業ですが、みんなで批評しあい、表現を磨いていく過程には静かな興奮と感動があり、なかなかドラマチックですよ。

### ESS

(English speaking society)

部員5名で毎週水曜日に、ALTのマイア・リー先生との会話を楽しんでいます。西

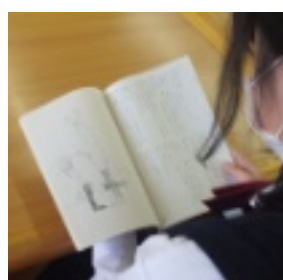


スマホの画面を使ってゲーム?の説明をするマイア先生(左側奥)。

洋の季節の行事(春はイースター祭、秋はハロウィン、冬はクリスマスなど)にまつわる文化・慣習を学んだり、英語のゲームや洋画などを見たりと、楽しみながら英会話を学び、また英語圏の文化に触れることができます。マイア先生の出身国ニュージーランドの手作りお菓子を作ったパーティーもするそうですよ。

7月には県内各校の英語好きの仲間が集い、日本語禁止の交流イベント「チェス」も開催されます。

今この時期は小説をメインに標記コンクールへの出品をめざして創作活動が続いています。島根県高文連が主催する同コンクールは、小説・随筆(エッセイ)・詩・短歌・俳句・文芸部誌の6部門で募集します。顧問の保科教諭は、「文芸部に入つて一緒に創作を楽しみませんか。兼部もまったく問題ありません。入部はちよつと迷っている人も、個人資格で応募できます。応募のお手伝いもしますので、気軽に相談に来てください。」とのこと。



昨年度の部誌を手にする部員

### マイアさんの母国のニュージーランドの国旗

ニュージーランドでは国旗変更の要望が高まっているのを存じだろるか。同国の総選挙での争点にもなるほどだ。今に始まったことではないが、その理由を簡単に言えば、特にお隣のオーストラリアの国旗と酷似しているためだ。なぜ似ているかは自分で調べてみよう。

なお、ニュージーランドでは国旗とは別に、先住民マオリ族が信仰の対象としていた銀白色のシルバー・ファーン(シダ)の葉を黒地にデザインした「シルバー・ファーン・フラッグ」(下)が国章となっている。ラグビーのオールブラックスをはじめ、同国のナショナルチームのロゴに採用されるなど、同国のアイデンティティの象徴となっている。





日	曜	学校行事等	部活等
22	月	スポーツテスト再検査	
23	火		
24	水	スポーツテスト再検査 S.C	
25	木	6月27日の代休日 学校開放	
26	金	期末試験1日目	
27	土	期末試験2日目 大学等説明会	
28	日	学校開放	
29	月	期末試験3日目	
30	火	期末試験最終日	



日	曜	学校行事等	部活等
1	水		
2	木	防犯教室	
3	金	壮行式	
4	土	3年CTEC・就職・公務員模試	自然科学
5	日	英検2次	
6	月	1年「命の学習会」(出前授業)	
7	火	学園祭LHR(全学年)	
8	水	球技大会 PTA生活指導委員会兼PTA人権・同和教育推進委員会	
9	木	3年生進路講演会	
10	金	1・2年進研学テ(授) 3年進研記述模試(放) 第1回漢字検定 高P連中・四国大会(岡山)閉寮	



11	土	3年進研記述模試	県高文連文化フェスティバル
12	日	開寮	陸上、吹奏楽
13	月		
14	火	学園祭クラス集会(LHR)	野球(~26)
15	水	1年アカデミック・インターンシップ(広島大学訪問)	
16	木		
17	金	3年駿台M模試(放) 6限授業	
18	土	3年駿台M模試・SPI入門テスト・看護医療模試	
19	日		
20	月	海の日 PTA木次地区パトロール	
21	火	特別時間割(~24日) 1・2年生保護者面談(~24) 3年生三者面談(~31)	
22	水		
23	木	PTA会報発行 1年桐原小論文模試(授)	
24	金	終業式(午後) 学園祭分団集会(放)	
25	土	PTA三刀屋地区パトロール 3年桐原小論文模試	水泳中国大会
26	日		
27	月		
28	火	3年夏期補習	
29	水		
30	木		全国高総文祭(書道)
31	金	オープンキャンパス(中学生対象)	全国高校総体(少林寺) (~8/2)

演劇

高文連演劇講習会

(5/28~29、県民会館)  
松江市の県民会館中ホールをメイン会場に開催された恒例の演劇講習会には、県内15校から約180名の演劇仲間が集い、掛合分校の亀尾佳宏教諭と県民会館スタッフを講師に舞台技術を総合的に学びました。  
本校からも部員12名が参加して舞台作りの技術を基礎から学んだ後、キャストとスタッフに分かれて講習を受け、最後は学年別にミニ芝居を作って発表しました。

パソコン同好会

1年生部員3名の加入で休部状態から復活。島根県が普及を後押しするプログラミング言語「Ruby(ルビー)」の習得も目指しながら、日々パソコン教室で活動を続けています。

ダンス同好会

今年度は3年生女子3名で活動中。「完コピ」に日々挑戦し、みんなで踊って揃ったときは感動です。アクロバットや様々なジャンルの踊りにも挑戦していきます。今年文化祭のステージでも発表したいと思います。

<お断り>…以下の文化部の大会については、すでに今月12日から本日にかけて開催されておりますが、発行スケジュールの都合により、紹介は次号に回させていただきます。記事は6月10日段階の予定として掲載しております。

(放送部の県大会、柔道部の中国大会も次号で紹介)

JRC

Junior Red Cross  
青少年赤十字



昨年度に続いて特別養護老人ホーム梅里苑を定期的に訪問します。また、先月には三刀屋保育所を訪問し、今後は新たに雲養護学校雲南分校室も訪問して交流が出来ればと思っています。  
今月は、ラメールで開催される島根県視覚障害者福祉大会に参加するとともに、17日には、県内高校のJRC部員が一堂に会す春季協議会を事

写真

高文連写真専門部は、春と秋の年2回のコンクールを行い、両コンクールで特選となった作品が一堂に会する県高校写真展を年末に開催します。  
今年も今月に春季写真コンクール(東部地区講習会)をビッグハート出雲で開催し、本校部員13名も参加します。  
また、秋には専門部主催の各校合同の写真技術講習会も予定されています。

自然科学

高文連自然科学専門部が1泊2日で今月開催する実験観察研修会では、出雲市内の出雲科学館、ゴビウス等での施設見学のほか、宿泊場所のサンレイクで天体観測実習も予定されています。  
7月には恒例の「益田サイエンスタウン」に、11月には次年度の全国高等学校総合文化祭出場をかけた県コンクールも予定されています。  
2年生不在で休部の危機にありましたが、1年生3名が加わって活動の裾野を広げようと頑張っています。

# 三高新時代への胎動 地域とともに



地域でつなぐキャリア教育モデル事業実践校

※ 島根県東部の全市町と接する雲南市。ここは現代出雲国の中心 !!

普通科から総合学科に移行した本校では、現在も大半が上級学校への進学を志望し、受験に対応したカリキュラムを設定するとともに、進路目標に応じた選択科目を多数設けています。「フード・デザイン」もその一例です。

## シリーズ 第13回

## 「フード・デザイン」(2・3年)

## 雲南の四季を味わう選択授業

未来の三高生と普通科時代に卒業された皆様にもご存知いただくために、今の三刀屋高校総合学科の選択科目をご紹介します。



→不審者ではありません



↑左手ですりこぎのアタマを軽く抑えて動かさず、右手ですりこぎの真ん中あたりを持って回すと楽ですネ。胡麻に比べてヨモギはちょっと大変!



旬

3年選択者5名 担当/周藤友子教諭

春5月の授業では

放課後に玄関前の「蒼雲館」付近でヨモギを摘み取り(写真上中)、5月29日の授業でこれをすり潰して草餅を作りました(なぜか記者の口に届くことはなかった)。これより前の授業で



ヨモギで草餅

は、旬を通り越したものの、春のタケノコ料理に挑戦し、「筍ご飯」「若竹汁」に「鶏肉のクワ焼」を添えて、雲南の春を感じさせる昼食会となりました。  
▼生徒の感想(3年)  
ヨモギを自分で取りに行き、すり潰して作るの何だか新鮮味がありました。餅を作るのは意外と調節が難しく苦戦しましたが、ヨモギの風味があり、こしあんが美味くて良かったです。お茶と一緒に食べた方がより一層美味しいと思いました。  
▼周藤教諭談  
1年次の科目「家庭基礎」の時間を含めて、可能な限り旬の食材や地元産を生かした調理実習を心がけています。



ミコちゃん

三刀屋高校では、自分の進路に合わせた授業が選べるんだね。人によって時間が割が違うんだね。

ミトちゃん



本当にすごいたくさんの科目が用意されているね。僕は保育士になりたいから、3年生で「子どもの発達と保育」を勉強したいな。

## 総合選択科目(昨年度入学生のカリキュラムより)

1年次	2年次	3年次
系列: 共通 数学Ⅱ	系列: 人文情報 総合英語 系列: 理数科学 化学	系列: 人文科学 英語理解 英語表現 系列: 人文情報 異文化理解 時事英語
	系列: 共通 日本史A 地理B 数学活用 日本史B 数学Ⅱ コミュニケーション英語Ⅱ 地理A 数学B 英語表現Ⅱ	系列: 共通 世界史B 地理B コミュニケーション英語Ⅲ 日本史B コミュニケーション英語Ⅱ 英語表現Ⅱ

## 自由選択科目 ●1年次は共通 ※2・3年の選択科目は開設予定で変更する場合があります。

2年次	3年次
系列: 人文科学 倫理 英語基礎 系列: 人文情報 国語表現 簿記 自然観察 生物基礎 20世紀現代史 郷土の自然 英語会話 基本数学	系列: 人文科学 倫理 系列: 人文情報 国語表現 生物基礎 歴史の中で読む古典 創作科学 現代文A 地学基礎 実用国語 科学情報 古典A 英語会話 20世紀現代史 郷土の自然 現代社会 ビジネス基礎 基礎数学 情報ビジネス 政治・経済 簿記 実用数学 化学基礎 評論文読解システム 自然観察
系列: 総合人間 書道Ⅱ 演奏研究 ビジュアルデザイン ファッション造形基礎 ソルフェージュ クラフトデザイン フードデザイン 器楽 情報メディアデザイン スポーツ概論 素描 映像表現 音楽理論 構成 書道表現 音楽史 絵画	系列: 総合人間 書道Ⅱ スポーツⅡ 器楽 映像表現 子どもの発達と保育 スポーツⅢ 素描 情報メディアデザイン 服飾手芸 音楽理論 構成 書道表現 フードデザイン 音楽史 絵画 調理 演奏研究 ビジュアルデザイン スポーツⅠ ソルフェージュ クラフトデザイン
系列: 理数科学 数学Ⅱ 物理 生物	系列: 理数科学 数学Ⅱ 物理 生物 物理基礎 化学 数学探究
	系列: 総合人間 書道Ⅱ スポーツⅡ 器楽 映像表現 子どもの発達と保育 スポーツⅢ 素描 情報メディアデザイン 服飾手芸 音楽理論 構成 書道表現 フードデザイン 音楽史 絵画 調理 演奏研究 ビジュアルデザイン スポーツⅠ ソルフェージュ クラフトデザイン
	系列: 理数情報 数学活用 情報の表現と管理 表現メディアの編集と表現 情報処理 ネットワークシステム
	系列: 共通 数学総合Ⅰ 数学総合Ⅱ 発展リーディング 基本情報



錦織良成監督映画『たたら侍』を勝手に応援するシリーズ

# 斐伊川今昔物語 第12回

## 斐伊川水系の「川違え」①飯梨川と赤川

奥出雲地方(雲南圏域)の砂鉄採取のための鉄穴流しによつて河床が上昇すると、斐伊川や安来市を流れる飯梨川の河口付近では、流路を人工的に変えて洪水防止を図るとともに、元の河床(河道)を耕地として利用するというエコな再開発を行った。川の流れを違えるという意味で「川違え(かわたがえ)」と言う。先人の苦勞に感謝したい。

航空写真によつてその跡が最もハッキリと視認できるのは下段の写真で紹介する飯梨川の河口部と、次回紹介する出雲市斐川町の「新川」跡だ。ここで今一つ紹介するのは、



昔は右の山とつながって一つの大きな草枕山だったが、草枕山を切り開いてその間を矢印方向に通すようになった(草枕山の向こう側には斐伊川が流れている)。



↑↓斐伊川(左)に合流する直前の鯀の尾

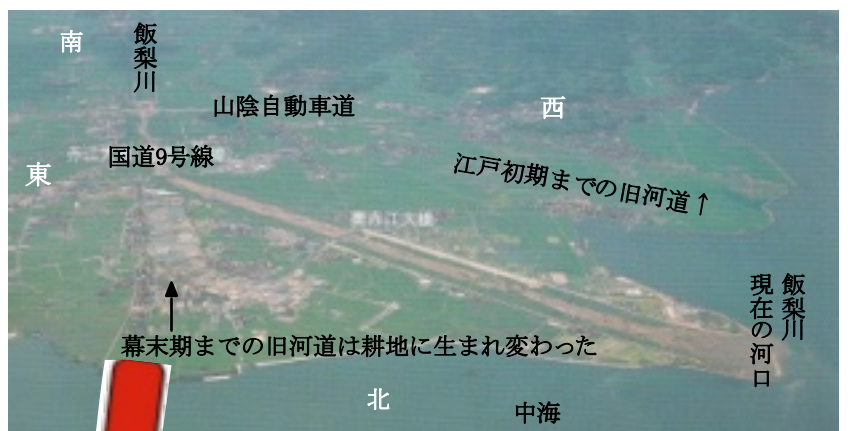
床上昇が激しく、合流地点では赤川よりも斐伊川の河床が高く、洪水時には斐伊川の水が逆流する有様だった。このため、江戸時代には河床の高さが同じになる地点まで赤川を斐伊川と並行して延伸させる改修工事を行った。幕末には元の合流地点付近の草枕山(酔ったヤマトノオロチが枕にした伝承で有名)を真つ二



→写真は国土交通省中国地方整備局出雲河川事務所所有

ただし、大正末にたたら製鉄が終焉を迎えて以降、鉄穴流しが行われなくなると特に斐伊川中流域での河床低下が進み、合流地点で戦後直後にはいまだ3mあった河床差は、昭和50年に至つて解消された。

つに切り開いて赤川の新流路とし、現在とほぼ同じ川筋となった。このような導水路を「鯀(なます)の尾」と呼ぶ。近代にかけて何回かの延伸工事を重ね、現在は草枕から2kmほど下流、出雲市斐川町に入った所で合流している。



↑安来市提供写真をもとに作成



※ 左の写真の道路は幕末期までの旧河床の一部。その右側には、当時の土手が今も小高く残る。付近では、旧河床の砂地を利用した果樹栽培が盛んだ。

### 図書館に入りました

## 「昭和39年加茂町大水害復興記念誌」

シリーズ「斐伊川今昔物語」の第1回でも紹介した昭和39年の大水害と、以後の復興の道程をまとめた記念誌です。



1964年からちょうど半世紀を経、地元の皆さんが後世に語り継ごうと証言や記録をまとめた一冊です。当時の事を振り返りながら、災害に強い町づくりをめざす雲南市です。

## 演劇鑑賞会

6/8(月) 本校体育館

## ジャンヌ・ダルク ジャンヌと炎

東京演劇集団風 Tokyo Theatre Company KAZE



客席とステージとの近さが舞台を盛り上げました



県総体明けの6月8日(月)の午後、本校体育館でジャンヌ・ダルクを主人公とする演劇公演がありました。

毎年の「芸術鑑賞」では、一流のアーティストを招いて音楽と演劇を交互に鑑賞しています。今年は掛合分校と出雲養護学校雲南分校の皆さん、そして保護者の皆様もいっしょに観劇いただきました。



<教職員の取り組み>

(1) 学校と企業の就職情報交換

島根県内でも地元企業から高校への求人数はここ2年で増加傾向にあるものの、大都市圏ほどの景気回復の兆しは鈍いようです。以前に比べて県内就職希望の割合は他校でも高く、進路指導部では県東部を中心に地元企業との情報交換の場を持って、進路目標の実現に努力しています。関連する取り組みの一部を紹介します。

1 企業訪問実施中

先月から約40社 進路指導部と新旧3年担任を中心として、5月下旬から約40の事業所を訪問している最中です。

本校を卒業して就職した者の近況を聞き、支援することと早期離職を防ぐとともに、今年度の就職希望者のための情報収集と新規の求人開拓を狙っています。

2 各種連絡・情報交換会に参加

雲南公共職業安定所(木次町里方)が主催する「新規高等学校卒業生職業紹介業務連絡会議」がすでに開催され、管内各校のほか、島根県や雲南市の関係機関の担当者が出席して意見交換を行いました。また、6月16日には松江市・安来市・雲南雇用対策協議会等が主催する「学校と企業との就職情報交換会」が松江市のくにびきメッセで開催され、県東部を中心とする約80社の企業担当者と高校進路指導部担当者が個別に情報を共有する機会もありました。これに先立つ12日には、出雲地区でも同様な会合がありました。

※学校にいながら複数の学校の説明を聞ける良い機会です。25分間ずつで最大3校まで聞けます。

6/27(土) 大学等説明会 13:00~14:25

島根大学 島根県立大学浜田キャンパス 島根県立大学出雲キャンパス 島根県立大学短期大学部 公立鳥取環境大学 新見公立大学 新見公立短期大学 島根職業能力開発短期大学校 鳥取看護大学 鳥取短期大学 広島修道大学 広島工業大学 比治山大学 比治山大学短期大学部 岡山理科大学 川崎医療福祉大学 美作大学 美作大学短期大学部 広島コンピュータ専門学校(検討中) 広島情報ビジネス専門学校(検討中) 広島公務員専門学校(検討中) 専門学校松江総合ビジネスカレッジ 花園国際美容学院 松江栄養調理製菓専門学校 広島酔心調理製菓専門学校 トリニティカレッジ出雲医療福祉専門学校 出雲医療看護専門学校 松江総合医療専門学校 島根県歯科技術専門学校 島根リハビリテーション学院 <協力>株式会社さんぼう

生徒・保護者を対象とした進路指導関連の動き (1学期後半)

1学期終了後の進路の進め方、自身の進路目標を見つめるための各種講演会等が準備されています。

平成27年度重点目標 1. 「学力」を高める

三刀屋高校では今年度の重点目標を三つにしぼり、その第一を「学力」を高める」としました。そのために教員の授業力向上を狙いとして、従来以上に研究・公開授業を計画しています。近隣の高校はもちろん、中学校へも案内して中高連携を深めます。

先日の3年古典の授業(『蜻蛉日記』)では、校外から2名の先生方にも参観し



写真は昨年度1年の英語の公開授業

引き続き英語教育強化地域拠点事業

平成26年度〜29年度の4年間

標記事業は小中高を通じた英語教育の強化事業で、全国で18地域102校で取り組まれています。雲南市では吉田小・田井小・吉田中・三刀屋高が指定を受け、今年度も各校担当者が集まった連絡会が

先日開かれ、今年の研究取組内容が審議されました。

雲南市立吉田・田井両小学校での少人数複式学級で英語学習をスタートした子どもたちも、その後吉田中学校・三刀屋高校と進む中で、各校がいかに連携して子どもたちの力を引き出していかかが求められています。

未来の先生も奮闘中! 3名の教育実習生

6月1日(月)から教育実習生3名が母校の三刀屋高校で奮闘中です。団塊世代の大量退職を受けて教員採用枠も以前よりは広がりがつありますが、それは行政職や回復基調にある民間企業も同様。多くの優秀な人材を学校現場に確保できるように、我々現任教員も実習生を応援したいと思えます。小中学校で実習中の皆さんにもエールを送ります。そして、現役三高生の中からも、島根の教員を目指す人がもつとも続いてもらいたいと思います。

紙面の都合で「地域産業研究」に係る動きは省略

【6月】

- 6月9日(火) 3年生対象 <日本学生支援機構予約奨学金申し込み手続き説明会>
- 6月12日(金) <2年生進路講演会>保護者も可 講師:村上育朗氏 (教育未来研究会「そうぞう」) 演題:進路実現のためになすべきこと(仮題)
- 6月13日(土) <保護者進路講演会> 講師:同上 演題:高校生の保護者としての旬を生きる(仮題)
- 6月27日(土) <大学等説明会>保護者も可 中国地区の大学・短大・専門学校約30校の個別説明会

【7月】

- 7月9日(木) <3年生進路講演会> 講師:山崎裕正 准教授 (香川大学アドミッションセンター) 演題:現代社会で活躍できる人材になるために+A0推薦入試対策
- 7月15日(水) 1年生対象 <広島大学訪問> (アカデミックインターンシップ)
- 7月31日 3年生就職志望者対象 <高校生ジョブフェア>保護者も可 会場:くにびきメッセ(松江市)
- 7月~8月を中心として <看護体験等> <上級学校オープンキャンパス>





保護者の皆様へ

# お知らせとお願い

※進路関係の行事予定については10頁をご覧ください。

## 1 第10回島根県高等学校文化フェスティバル

# 7/11(土)

<入場無料>  
高校生のステージ・展示発表をご覧ください!

プラバホール(松江市総合文化センター)

## 2 「いのちの学習会」 (臓器移植に関する出前授業)

- 対象：1年生  
お子様の学年を問わず保護者の皆様もすべて聴講可能
- 主催：三刀屋高校地歴・公民科
- 目的：1年の授業：現代社会で学習した「生命倫理」「臓器移植」についての理解を深め、生命倫理の問題を自らの生き方の問題ととらえ、考察を深める。
- 日時：7月6日の午前中2時間  
※保護者の皆様には別途文書でご案内します。
- 場所：三刀屋高校大講義室
- 講師：「しまねまごころバンク」臓器移植コーディネーター

## 3 地区PTA、保護者面談について

7月前半を中心とする地区PTAについては、現在、支部長様を中心に日程を調整していただいております。決定次第、お子様を通じてご案内の文書をお届けいたします。

また、行事予定表にも掲載しております1学期末の保護者面談につきましても、ご協力をお願い申し上げます。担任によっては職務の都合により基準日とは異なる期日でご案内することがありますが、ご了承ください。

## 5 奨学金のご案内です



概要説明はすでに5月中に行っております。不明な点は総務部の担当者までお問い合わせください。



### (1) 平成27年度日本学生支援機構大学等奨学金(予約) 担当:総務部(須田)

すでに6月9日に3年生対象の申し込み手続き説明会を実施しました。必要書類の提出期限を6月22日(月)としておりますのでご注意ください。

- 募集対象・国内の大学・短大・専修学校専門課程への進学後に奨学金を希望する人(専修学校によっては取り扱わない場合もあります)

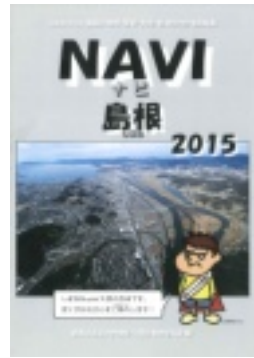
- 奨学金の種類
  - 第一種奨学金 無利子の奨学金(貸与)です
  - 第二種奨学金 有利子の奨学金(貸与)です
  - 入学時特別増額貸与奨学金(有利子貸与)
  - ※入学前に奨学金を借りることは出来ません
  - ※第一種奨学金と第二種奨学金の併用希望も可能です
- 申込基準・学力基準と家計基準です

6月22日〆切

### (2) 公益財団法人日本教育公務員弘済会島根支部 高等学校等給付奨学生募集 → 返還義務のない奨学金給付事業です

全学年対象です

- 応募条件
  - 1) 家庭の事情により、学費支払いが困難と認められる者
  - 2) 向学心に富み、かつ学業に耐えうるもの
  - 3) 校長の推薦を受けたもの(原則として各高校1名以内)
  - 4) これまでに、この奨学金を受けていないもの
- 給付内容
  - 1) 給付額 一人当たり 15万円
  - 2) 全県で40人 三刀屋高校から1名推薦
  - 3) 原則として返還の必要はありません
- 複数の応募者があった場合は校内で選考し、1名を推薦します。選考にあたっては経済面を重視します。
- 応募必要書類提出〆切は6月22日(月)です。提出書類が数種類必要ですが、「市町村長が発行する同一生計家族の所得証明書」も必要となります。ご希望される場合には、早めにご準備をお願いいたします。まずはお子様を通じて願書を総務部(担当:曾田)までご請求ください。



キャリア教育5月編

1年

### 図書館から始まる学びのガイド

フレッシユマンセミナーでキャリア学習をスタートした1年生は、5月に図書館で「調べ方」について学びました(各クラス2時間)。

司書の渡部さんから、調べる対象によって辞書・参考図書等を使い分ける必要性について説明を受けたのち、与えられたキーワードについて、図書館内の本を利用して「調べ方」の基本を再確認しました。

学んだことを、今後の「地域産業研究」に生かします。

▼「NAVI 島根」紹介  
上の冊子は島根県高等学校地歴公民科教育研究会が毎年作成する資料集です。

昔は「島根の地理」等の名で編集されていましたが、現在では地理的内容に限らず、島根県を歴史、文化、経済、社会と多角的にとらえる総合資料集として編集発行し、本校では「地域産業研究」の一助として1年生全員と担任が利用しています。

また、島根の歴史を主眼的に紹介した「ふるさと読本」もつと知りたいたまねの歴史」は県教委が小中学生向けに発行したものです。高校生にも分かりやすい入門書です。

# 三高91年物語

終戦から70年 昭和51年3月発行  
 第12回 戦時を綴る『五十年史』  
 (語り継ぐとは 無念を語り継ぎ  
 明日を切り拓くこと)



終戦から30年を経て昭和51年3月に発行された『三刀屋高等学校五十年史』では、日中戦争が勃発した1937年(昭和12年、木次線全通の年)から終戦の1945年までを約80頁を割いて戦時下の旧制中学校時代を綴っている。戦時を振り返る寄稿も多く、今回はその中から、太平洋戦争勃発当時の第7代間崎勝義校長の思い出を紹介する手記

…… 適国語というので英語軽視の風潮の最中であって、時々授業中寂しそうな顔をして、「諸君が英語を学ぶのは、世界に目を向けるためだ。外国の本を読み知識を豊かにすると共に、諸君の考えを外国に発表するためのものだ。諸君は読解、文法、作文の力をうんと鍛え、英語の基礎をしっかりと固めなくてはならぬ。会話は英国に三か月も居れば結構話せるようになる。戦争に勝てば世界中日本語が通用するような意見は駄目だよ」と話された。また、一度ばかり Asia Is one, アジアは一つ」という岡倉天心の話をされたことが印象的であった。…… (中学16期N氏の寄稿「間崎校長の思い出」より)

(左枠内)と、卒業生諸氏がアンケートに回答する形をとった「私の昭和20年8月15日」のほんの一部を抜粋して紹介する。

◇◇◇◇◇

Q. 敗戦を聞いた時の状況や感じたこと。

A. …… 「敗戦とはいったい何だろう、日本が負けたとは？」中々に実感が湧きませんでした。二日たつて大隊全員集合し、部隊長

から皇国日本が敗れたことを涙と共に聞かされ、しっかりと銃を握って泣いたことを記憶しています。そして急に「無事に故国に帰りたい」、戦友と声を交わして出た最初の言葉がそれでした。

A. …… 今日の若人のような青春はなかった。多くの戦友を死なせて、自らは生き残った不可避の現実の中で、生き残りとしての義務感を抱いていた。

Q. あれから30年、今思うこと

A. …… 戦後30年を最も痛ましく生きた人は、自分が嫁すべき相手を戦場に失って独身で生きてきた戦中派世代の女性ではあるまいか。彼女たちこそ、戦中も戦後も永遠に終わるわけがない

からである。

◇◇◇◇◇

『三刀屋高等学校五十年史』の中に綴られた証言の中に、終戦の年に米軍上陸に備えて出雲市古志町の山中で陣地構築に動員されたK氏の回想録があった。その最後には、「辛く苦しかった往古を振り返り、感無量である。この体験を語る機会を得たことに感謝して私の手記を終える。」とある。振り返り、語り継ぐことの重さを感じさせる言葉ではないだろうか。繰り返してはならぬ事は、思い出したくもない事である場合が多いが、亡くなった方々の無念の思いも込めて生きた言葉で語り継ごうとした『三刀屋高等学校五十年史』に敬意を表したい。

三刀屋高校の今を伝えながら、今号は中学生への学業内を意識した紙面で構成しました。また、本校普通科時代の卒業生や地域の皆様にも、総合学科の姿をお伝えしながら、今後の更なるご理解とご協力をお願い申し上げます。

(編集長記)

前号7面で紹介した「チャレンジデー」の開催日に誤りがありました。正しくは5月27日(水)でした。訂正してお詫び申し上げます。



**見本**

中学3年生向け

本紙とあわせてご覧ください。

まもなくお届けします  
(7/31のオープンキャンパスで配布します)

三刀屋高校  
**学校案内 2016**

**道路交通法 6月改正**

× スマホや傘を使用した運転も青切符がきられます。

今回の改正の大きな理由は、自転車が加害者となる事故を抑止するため!!

**自転車のカギ掛けすらできないマナー違反の人は特に注意**

「スマートフォンを使いながら自転車に登校していたら、講習に呼び出された」6月から、こんな事態が起きるかもしれない

施行令で14項目の危険行為が決められ、14歳以上の運転者が危険行為を**3年以内**に2回以上繰り返した場合、都道府県の公安委員会が自転車運転者講習を受けるよう命令。従わなかった場合は5万円以下の罰金となります。

施錠不安のその後

5月12日に雨の中、雲南警察署と交通安全協会のボランティアの皆さんに自転車点検を行っていただきました。その翌週からは生徒指導部と交通安全委員が点検し、無施錠の自転車があれば、**盗難防止**

「盗難防止」の呼び出しを複数回受ける生徒があり、校内放送があるたびに、生徒の間からもあきれ返る声聞こえます。残念至極です。校内放送で呼び出しを受けていないか、ご家庭でも話題にしてみてください。無施錠の多いマナー違反の生徒が、法律違反で自転車運転者講習を受けることのないようにしたいものです。

いまだに「△△さん、自転車のカギを取りに来て下さい。」との呼び出しを複数回受ける生徒があり、校内放送があるたびに、生徒の間からもあきれ返る声聞こえます。残念至極です。校内放送で呼び出しを受けていないか、ご家庭でも話題にしてみてください。無施錠の多いマナー違反の生徒が、法律違反で自転車運転者講習を受けることのないようにしたいものです。